町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課　第４６１号
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回

12
2006






第46回鋸南町文化祭
―生涯学習推進大会―

１０月２８日（土）、２９日（日）の２日間、中央公民館で第４６回鋸南町文化祭が開催されました。展示部門では陶芸や絵画、水墨画などの作品の他、小中学校の児童生徒の書道や美術作品が１９のコーナーに分かれ多数展示されました。２９日開催の芸能部門は、小中学校の子どもたちの合唱、合奏で開幕し、民舞やダンス、コーラスなど７０組の発表がありました。どの部門も参加者の皆さんが、日頃の成果を力いっぱい表現した熱い文化祭となりました。

加藤武司さん日本善行表彰受賞

１１月１８日（土）に明治神宮集参殿において社団法人日本善行会による秋季善行表彰式が行われ、加藤武司さん（下佐久間３５９６番地）が環境美化表彰を受賞しました。加藤さんは、昭和４７年の勝山小学校の改築に伴い、緑の環境作りを計画。各学級に１８本のぶどうの植え付けを行いました。１年を通じて剪定、棚の整備などの管理から夏の収穫に至るまで、加藤さんの奉仕作業はもとより、技術指導・助言をいただいた子どもたちが一緒になって作業をし、よい体験学習の場となっています。

また、平成１５年から米作りの体験学習を実施、「たんぼの先生」として田植えから収穫まで米作りの指導を行っています。

米作り体験は収穫を行うだけでなく、水田が果たしている自然環境を守る為の貯水能力等の役割について学び、ぶどう作りは、学校施設の中にみどりの環境づくりを行うことにより、自然環境の保全について学ぶ良い機会となっており、加藤さんは環境保全の推進に寄与しています。



喜びの受賞

鋸南中女子剣道部千葉県中学校新人体育大会団体の部にて優勝

１１月１１日（土）市原市立中央武道館で行われた平成１８年度千葉県中学校新人体育大会「剣道団体の部」において鋸南中学校女子剣道部が見事優勝しました。

１回戦の茂原中から勝ち進み、準決勝では幕張本郷中を２－１、決勝では４－０で館山二中を破り見事優勝しました。前回、船橋市で開催された大会では決勝で館山二中に敗れているため「同じ学校に二度負けることはできない」と強い意志で決勝に望み、前回の雪辱を果たしました。



左から白石町長、田中剣道部顧問、平田　南津子、田中　友里絵、平田　舞美、駒　珠里、小宅　綾希、平田　理彩、川崎　加奈、田村　祥子、出口校長、小宮教育長

第３５回鋸南町オリエンテーリング大会

親睦と友情を深めるとともに青少年の健康な体力づくりを目指し、１１月５日（日）に保田小学校周辺を会場にオリエンテーリング大会が開催されました。当日は、６２チーム２８０名余りの参加者が集いポイントオリエンテーリングを楽しみました。

大会当日は、天候にも恵まれ高低差のあるコースを地図とコンパスを頼りに歩き回り汗びっしょりとなってゴールをするチームが目立ちました。

また、ボランティアで参加していただいた、矢生茂美さん（市井原）からのカキ氷のプレゼントには長い行列ができ、参加者も大喜びでした。

『大会結果』

子ども会コース	Ａコース	大上・本上育成会Ｂチーム
	Ｂコース	龍壱チーム（竜島１）
親子コース	Ｃコース	チビッコチーム（大下、江月）
	Ｄコース	仁浜Ａチーム
オープンコース	Ｅコース	チームＡＢＯ
	Ｆコース	コスモチーム



スタートの様子

観光ガイドボランティア養成講座スタート

町では、来春の大型観光キャンペーン（ちばデスティネーションキャンペーン）に向け、鋸山と日本寺の観光ガイドボランティアを養成する講座がスタートしました。

地域の観光資源活用及び地域の人材を育成し、町を訪れる観光客へのおもてなしを行おうとするものです。

初回は１０月２０日（金）に中央公民館で資料館の笹生浩樹学芸員の講義を受け、２回目からは現地での研修を行いました。鋸山には年間約１５万人の観光客が訪れ、頂上からの景勝もさることながら、日本寺の境内には、日本一の大仏や石仏が数多く点在し、天然の博物館と呼ばれています。研修に参加した方たちの中には、「研修期間は短いけれど、是非この機会に習得し町の観光資源をＰＲしたい。」と話している人もいました。

今後も２月からスタートするＤＣキャンペーンに向けて研修を行う予定です。



鋸山での研修

第4回スポーツの集いを開催

鋸南町では子供から高齢者までいつでも気軽に楽しめるスポーツの普及、生涯体育の振興、さらには健康で明るいまちづくりを目指してスポーツの集いを１０月１５日（日）鋸南町Ｂ&Ｇ海洋センターで開催しました。当日は好天に恵まれ、ソフトバレー、ドッジボール、キックベース、輪投げなど屋内外で１０種目、またプールでは水中運動体験が行われました。今年は約６５０人の参加者が集まりました。

キックベースの試合は、町内の子ども会を５チームに分け、トーナメント方式で行いました。珍プレーも見られましたが、大人たちが思わず歓声をあげてしまうような、ファインプレーの連続で会場も盛り上がりました。とくに大人の声援が会場に響き渡り、その中で子どもたちも一生懸命プレーをしていました。



輪投げ



水中運動

◆岩井袋野球場（１種目）
　キックベース
◆堤ヶ谷ゲートボール場（１種目）
　ゲートボール
◆海洋センター（体育館・２種目）
　ドッジボール・ソフトバレーボール
◆海洋センター（プール・１種目）
　水中運動体験
◆海洋センター（プール脇・２種目）
　ストラックアウト・輪投げ
◆海洋センター（武道場・２種目）
　スポーツチャンバラ・ダーツ
◆町営弓道場（１種目）
　弓道体験



キックベースで優勝した保田パワーキッカーズ

鋸南中学校職業体験（漁業体験）

１１月１５日（水）に鋸南中学校の１年生全員８６名が勝山漁業協同組合（平島孝一郎組合長）に協力いただいて、職業体験の一環として漁業体験を実施しました。漁業体験は鋸南中学校では初めての企画でした。

前日は低気圧の通過による強風と大シケで、実施が心配されたのですが当日は好天に恵まれました。残念ながら、一般の漁師さんの漁船は出漁していなかったので、定置網漁の水揚げと養殖ハマチ（１０ｋｇ物３０尾くらい）の水揚げだけでしたが、普段見ることのない漁業現場を生徒達は体験できました。

また、ひらきづくりではサバを２００尾用意して全員（人数が多いので２回に分けて）が婦人部の方々の指導を受け、ひらきづくりを体験。皆さんとても真剣でした。

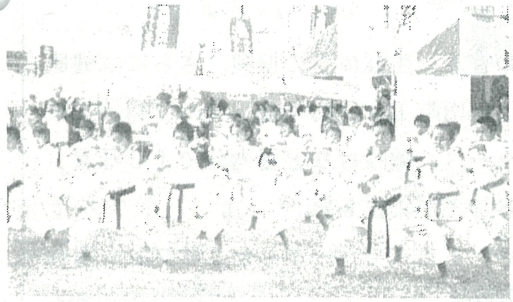
平島組合長の講義では、房総捕鯨発祥の地である勝山やさんま棒受網漁業といった先駆的な勝山漁業の話、そして現代の養殖漁業や定置網漁業といった話が聞けました。



ひらき作り

鋸南の参加団体に来場者から熱い視線

～にぎわいを見せた千葉県生涯学習フェスティバル～



勝山会の選手たち

１０月２１日（土）・２２日（日）に館山市の千葉県南総文化ホール他で行われた千葉県生涯学習フェスティバルには、わが鋸南町からも踊りの藤巳弘扇会、空手の勝山会、商工会と地域振興課が参加しました。藤巳弘扇会は１日目の大ホール、開会セレモニー直後の舞台で迫力ある民舞を披露しました。剛柔流空手勝山会は２２日の午前中、文化ホール前の野外広場にて３回にわたって元気な演武を披露し、４０人あまりの子どもたちの気合いに多くの来場者が注目しました。また、商工会と地域振興課のテントでは、鋸南の産物として鯨の串カツ、さんがの串焼き等が販売され好評を得ました。

黒川社会教育委員長が千葉県社会教育功労賞受賞

１１月９日（木）に千葉県総合教育センターで、千葉県社会教育振興大会が開催されました。その席上で、社会教育に功労のあった県内の個人・団体が表彰され、本町の黒川昌和社会教育委員長もその功績が認められ、表彰されました。

また、現在鋸南中に勤務している押本正道教諭には派遣社会教育主事（旧三芳村教育委員会）としての功績に対し感謝状が贈られました。

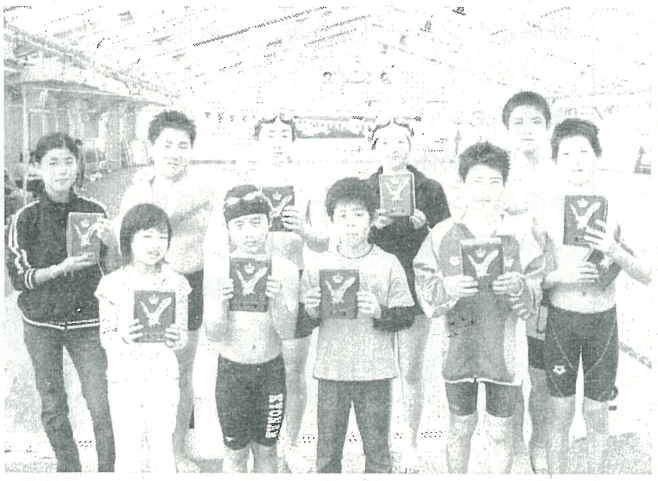


授賞式会場の前にて

B&G水泳教室発表会開催

教育の日に海洋センターで水泳教室発表会が行われました。

このイベントは海洋センターの水泳教室に通っている子供たちを対象とした水泳大会で、日ごろの練習の成果を披露する場として実施しています。保護者が応援する中、三歳から小学生まで８０名の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。



発表会の新記録を更新した選手達

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（57）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。

①高校卒業後、専門学校で医療事務の資格を取得し、現在は館山市内のクリニックで事務職員として勤務しています。また、子どもが好きで以前、館山市の幼稚園の臨時補助員として勤務した事がきっかけで、保育士の資格を取得したいと思い、仕事をしながら勉強に励んでいます。子どもに携わる仕事をしたいという夢を叶えるために頑張っています。
②仕事と勉強に追われる中で、励ましてくれる人達の存在が私の大きな支えになっています。本当にありがたい気持ちでいっぱいで、心からみんなに感謝しています。
　また、９月に姪が誕生し、新しい家族が増え、とても嬉しいです。本当にかわいくて、これからの成長も楽しみです。
③町のヨガ教室に通わせていただき、いろいろな方と交流できました。今後も様々なイベントや教室などが充実し、町民がふれあえる場が増えると良いと思います。



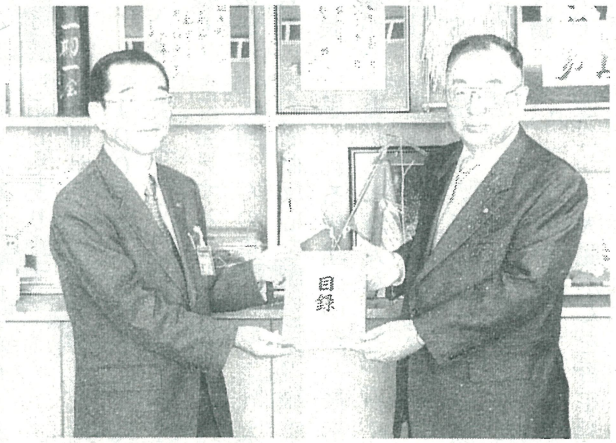
黒川　由樹子さん（田町区・医療事務員）
　次回は小澤　美由紀さん（中道台区）へバトンタッチされます。



黒川　賢一さん（町区・サラリーマン）
　次回は高名　秀一さん（町区）へバトンタッチされます。

①みなさんこんにちは。オーストラリアから帰ってきて１０年が経ちました。向こうで取ったスキューバダイビングの経験を活かし、今は素潜りにチャレンジしています。潜水時間は４分です。
②彼女と旅行に行った時の事なんですが、そこの風呂にはお酒が置いてあり、これはタダだと分かると１杯、２杯と飲んでいるうちに長湯になりました。気分良く風呂から上がるとそこには彼女の姿があり、待っていてくれたんだとうれしく思いました。幸せだな、俺。
③赤字だからってなんでもかんでも無くしてしまう事は町の活性化になりません。自立したいんですか？まず、駅の売店を復活させて下さい。競馬新聞が買えません。

東京電力が防犯灯を寄贈



東京電力館山営業センターでは安房郡内各市町村に対して、毎年防犯灯を寄贈しています。今年も11月９日に館山営業センターの伊藤所長が来庁し、白石町長に目録を手渡しました。この防犯灯は東電が設置を行い、維持・管理は町内の各区が行うものです。
　今回寄贈された防犯灯は10基で町内各所の東電本柱に取り付けされます。

家庭教育通信 すくすく No.65

遊びが子どもを大きくする(1)

遊びは、子どもたちの健やかな心や体の成長・発達において、欠かせることができない大切なものです。子どもたちは遊びを通してさまざまな体験をし、心と体を育みます。

今回「家庭教育手帳」の中に書かれている【遊び】についての文章を紹介します。

○子どもは、遊びが仕事です。

遊びは、子どもの心の成長にとても大切です。特に幼児は遊びを通して感覚を働かせ、運動をし、ものをつくり、想像します。しかし、遊びの機会が減るとともに、外で駆けまわるような遊びから、家の中でのひとり遊びが目立つようになりました。

また、テレビは好きだがおもちゃで遊べない、母親べったりで集団の中で遊べない、外遊びが苦手、などの「遊べない」子どもも現れています。

子どもにとって遊びがいかに大切かを認識して、ゆったり伸び伸びと遊ばせましょう。

○「疲れた」「疲れた」と言う子どもが増えています。

今の子どもたちは小さい頃から時間に追われ、遊ぶ時間も削られています。遊ぶゆとりのない子どもの中には、「疲れやすい」「何でもないのにイライラする」といったストレスを訴える子どもがかなりいます。

子どもは、ゆとりのある自由な時間を与えられることで、初めて心から遊びを楽しんだり創意工夫したりでき、個性や創造性を伸ばせるのです。親は、勇気をもって子どもたちに時間とゆとりを与えましょう。

○子どもたちの体力が低下しています。

子どもの成長にとって、楽しく身体を動かして遊ぶことはとても大切です。

身体を動かすことによって得られる体力は、人間の活動の源となるものですが、子どもたちの体力は年々低下してきています。

また、乳幼児期は、走る、跳ぶ、投げるなどという基本的な動きを学習し、運動の仕方を身につける大切な時期です。

親子の触れ合いや仲間との交流を深めながら、さまざまな遊びを通して、いろいろな身体の動きを学習させるとともに、身体を動かす楽しさを教えましょう。

○自然の中で遊ばせます。

テレビやゲームなど屋内の遊びが増え、自然の中で遊ぶことが少なくなっています。野外で遊ぶことをすすめたり、実際に自然の中に連れだしたりして、動植物や自然とふれあう楽しさに気づかせましょう。地域の自然に親しむ活動に家族ぐるみで参加したり、時には、親から離して子ども一人で参加させたりしましょう。

自然の中で遊ぶことで、驚きや感動を体験し豊かな感性をはぐくむとともに、自然や環境を大事にする心や忍耐することの大切さなど学びます。

これから寒くなりますが、身体を一杯に使って伸び伸びと遊ぶようにしましょう。心も体も温まります。子どもだけでなく家族で散歩やキャッチボール、追いかけっこなどの遊びもやってみてはいかがでしょうか。

教育委員会　生涯学習室
電話　55—2120

健康通信

「大腸がん」

大腸は消化吸収された残りの腸内容物をため、水分を吸収しながら大便をつくる器官です。たくさんの細菌が住み、長さは約2mあります。大腸がんは大腸のどこにでもできますが、日本人では肛門に近いS状結腸と直腸が好発部位です。

大腸がんの自覚症状は大腸のどこにどの程度のがんができるかによって違います。血便・便が細くなる・残便感・腹痛・下痢と便秘の繰り返しなど排便に関する症状が多くなります。しかしがん特有の症状はあまりなくほかの病気でもよく似た症状があります。血便は、がんの中心に潰瘍ができてここから出血するためにみられます。痔と自己診断してしまい、受診や診断が遅れることがよくあります。がんによる血便は、肛門痛はなく、暗赤色の血液が便に混じったり、時には黒い塊が出たりします。しかし肛門から離れた部分からの出血では血便は自覚されず、出血が続いた結果、貧血で発見されることもあります。

大腸がんは初期であればほぼ100%近く完治するがんです。そのためには無症状の時期に発見することが重要です。

大腸がんの集団検診では、大便の潜血反応を調べます。健康と思われる集団の中から精密検査が必要な人をふるいわけるための、有効で負担が少ない方法です。しかし潜血反応が陽性だからといって大腸がんだというわけでもありませんし、陰性だから大腸がんを否定できるものではありません。このほかに血液中の腫瘍マーカーといわれる検査で調べることもできます。

がんの正確な位置や大きさ、腸の狭さなどを確定するためには大腸内視鏡検査や注腸検査を行います。大腸がんの治療法には内視鏡的治療、外科療法、放射線療法、化学療法があります。以前は大腸がんの手術といえば人工肛門造設のイメージがありましたが、現在は直腸がんでも人工肛門をさけられる確率が高くなっています。

（保健福祉課　健康推進室）

歴史資料館

伊勢参り(11)

●連載171

泰輔、無事帰国

六月一日、巣鴨、駒込、小石川を過ぎ、一行は、江戸に入りました。本郷通りから湯島聖堂の裏を通って神田昌平橋を越え、室町から日本橋へ到着。この日と翌日、佐内町常陸屋という宿で旅の疲れをいやしました。

三日、朝早く宿を出立し、永代橋際より乗船しましたが、あいにくの天候で、神奈川まで来て雨風強くなり、急ぎ着船。はね沢屋泊。翌日もまた風で、神奈川を出てすぐ浦賀の港へ入り、徳田屋泊。翌五日も雨天で逗留。江戸から船で一走りに房州に戻るはずが、最後の最後でついていません。

六日、やっと風もおさまり、浦賀を出帆。金谷へ到着しました。幾千代という茶屋に上がって休息し、今帰ったことを家に知らせると、大勢迎えが来ました。皆と盃を交わし、互いに無事を喜び、同道して帰宅。こうして約三ケ月にも及ぶ泰輔の大旅行は終わりました。

「枝も葉も色もかわらで三蓋に寿きおさむ庭の老松」

最後の締めくくりの句です。

旅の経費はいかほどか

さて、これだけの旅をして、どれくらいお金がかかったか。

そこが皆さんの知りたいところだと思います。

江戸から伊勢までは、ほぼ十五日の行程でした。これに雨天逗留や川留めがあればさらに日数が増えるわけで、泰輔らは伊勢まで二十四日かかっています。

江戸時代の庶民の銭単位は文で、一文が今のどれくらいの価値かというと、だいたい二十円前後です。当時の宿代はほぼ二百文が相場で、宿代約四千円です。これに昼食代、茶屋代、船渡し代などを含め、一日約三百文ぐらいでしょうか。二十四日で十四万四千円です。

伊勢につけば、奉納金や御師や手代への手付け、滞在費の支払いなど。これが馬鹿になりません。そこからさらに西国から京大坂経由で中山道を回って帰国するのですから、莫大な経費です。

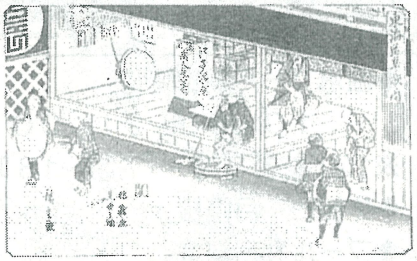
泰輔は九十四日にも及ぶ大旅行でしたから、一日三百文の単純計算で五六万四千円。これには伊勢での費用や遊興費、土産代は含まれていません。おそらく現在の感覚で一人百万円くらいは使ったと思います。

泰輔の「伊勢詣」には旅の経費は書かれていませんが、大六の鈴木祥枝家に伝わる「伊勢道中安全」には細かく経費が書き込まれています。それによると、泰輔とほぼ同じ行程で、質素に切り詰め六十日の旅。しめて二十九貫百五十七文（一貫は千文）。約五十九万円です。

これだけのお金を、当時の旅人は、どうやって持っていったのでしょうか。まさか一文銭三千枚近く持って歩くわけではありません。そこで活躍するのが両替商です。

各宿場には両替商がいて、宿に泊まると両替はいかがと聞きにくるのです。そこで大きな単位のお金をくずしたり、もっと確実なのは、お金は持っていかないのです。両替商にお金を預け、証明書をもらいます。それを持って旅をし、必要な時にお金に替えてもらいます。足りなくなったら家に手紙を送り、お金を預けた証明書を飛脚で旅先に送ってもらうのです。これを為替といい、まさに現代のキャッシュカードです。

これも江戸時代の旅を容易にしたシステムだったのです。



「宿場の風景」

生涯学習 みんなで学ぼう

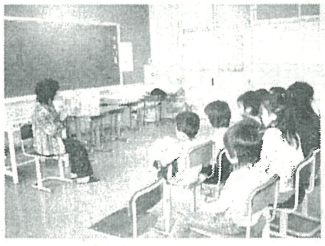
「さくらんぼ（読み聞かせボランティア）」



「子育てサロン」では親子一緒に

「きょなんのこども達にもっと本を好きになってほしい、一緒に絵本の世界を楽しみたい」と願い、中央公民館を拠点に絵本の読み聞かせの活動をしているボランティアグループです。グループの名前は、鋸南町を桜の名所にと町全体で取り組んでいる事にちなみ、桜の花の実のように、こども達が絵本を栄養にして健やかにその実を結べることを願って、『さくらんぼ』と名づけました。

活動は、町で実施している１歳６ヶ月児と３歳児の健診の時や、昨年４月からすこやかでスタートした「子育てサロン」で、お家の方やこどもと一緒に、手遊びやわらべうた、エプロンシアターなども取り入れ、公民館図書室の絵本で読み聞かせをしています。また、保田・勝山小学校のキッズステーションでも活動しています。こども達の絵本を見つめる澄んだ目と絵本を閉じるときに見せる満足気な顔に、元気をもらいながら活動を続けています。



キッズステーションで

中央公民館　☎５５－４１５１

わんぱく登場



遥斗くん　０歳５か月

〔米山　祐司さん　第１子　芝台〕

いろんなことが初めてづくしだけど、この前は初めて髪の毛をカットしました。それまではよく女の子に間違われたけど、すっかり男の子らしくなったと家族に大好評。男の子らしいのがそんなに受けるなら「指二本しゃぶり」はこれからも続けようと思いました。だって豪快でとっても男らしいでしょ。

桜だより

【寒肥と剪定について】

桜は植え付けてからの5年間の管理が重要です。冬期には必ず肥料（寒肥）を与えましょう。寒肥は、冬場、苗木の根が活動を停止している12月～1月の間、地力を増進させるための土壌改良剤としての役割と、春先に根が活動するための栄養を土に与えます。

寒肥の方法ですが、追肥と同様に行ないます。肥料成分を吸収できる根は、樹冠下回り(伸びた枝の真下)にあるので深さ10㎝ぐらいの穴を6～7箇所掘り、有機質肥料を施して下さい。

《苗木の剪定について》

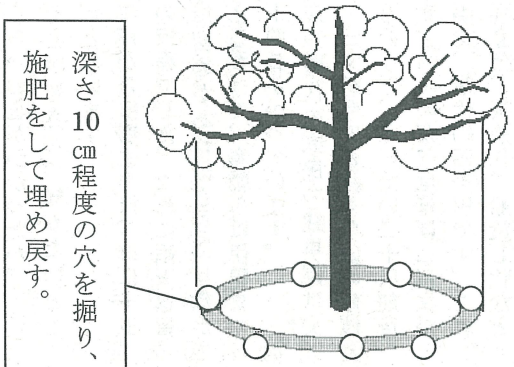
桜の枝は絶対に切ってはいけないと思われている人もいますが、適切な剪定をやらずにいたため、太い枝になってからやむをえず剪定するようになることがあります。桜は剪定した切り口から腐ったり病害虫が進入したりしやすいので、太い枝の剪定は出来るだけ避けた方がよいでしょう。樹形を整える剪定や将来邪魔になりそうな枝は、出来るだけ枝が細いうちに剪定する方がよいでしょう。

どうしても太い枝（直径3㎝以上）を切らなければならない時は、切り口に必ず癒合材を塗り適切に処理しましょう。

剪定の時期は落葉後が適しています。落葉後は、桜も冬眠にはいり活動していないため最適といえます。

桜の剪定の仕方としては切った切り口が枝や幹に沿って平らになるように剪定しましょう。

施肥も剪定も、将来美しい桜にするための大事な作業です。時期になったら必ず実施しましょう。



深さ10㎝程度の穴を掘り、施肥をして埋め戻す。

寒肥の方法

B&G NEWS

◆温水プール開館時間
10：00～21：00
※12時～13時・17時～18時は休憩
◆休館日　月曜日
◆プール利用料金
（町民）小中学生　200円
一般　400円
※　幼児は無料

≪平成18年度　3期水泳教室生徒募集≫

1月16日（火）から第3期水泳教室を開催します。

★幼稚園
☆ラッコ
☆イルカ
★小学生
☆初級中級コース

★小学生～中学生
☆選手コース
☆育成コース

★高校生・一般
☆ポンポコ歩行
☆生き生き貯筋
☆アクアビクス
☆腰痛改善
☆水中歩行

※新規参加者・初心者大歓迎です。
受付開始　平成19年1月5日（金）午前9：00
◇問い合わせ　鋸南町B＆G海洋センター　☎55－4411

あの子もこの子もきょなんの子

（10月25日から11月24日迄の届出分）
おめでとう！

名前	生年月日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆藤井　照万（しょうま）　くん	平成18年10月28日	元　超・慶　子さん（第2子）	元名	明るく元気に、育って下さい。
☆大胡　飛翔（つばさ）　くん	平成18年11月17日	範　明・里　佳さん（第1子）	大帷子	すくすくと元気に育ってね。

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。
一部希望に添えない場合もあります
◇総務企画課広報担当
☎55－4801

人の動き・・・・・

世帯数	3，757世帯	（△1）
人口	9，869人	（△9）
うち男	4，741人	（△8）
女	5，128人	（△1）

11月1日現在（前月比）

善意の寄付

次の方から町へ善意のご寄付がありました。

仲野　武治さん（吉浜区）　100，000円
社会福祉寄付金

陸上自衛隊第1空挺団第158・159期
空挺レンジャー学生一同様　10，000円
景観整備寄付金